

平成28年度 シラバス 沖縄県立球陽高等学校

科目	単位数	学科・学年	使用する教科書等
古典	3	国英科3年・理数科3年	数研出版「古典B 古文編・漢文編」

古文編第二章

4月 随筆	枕草子 二月つご もりごろ に	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、作者の心情の推移を読み取っている。【読】(行動の分析) ・助動詞「さへ」を理解している。【知・理】(記述の点検)	古典作品に出てくる官職を、「官位相当表」を用いて調べること。
	枕草子 宮に初めて 参りたる ころ	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、清少納言に対する女房たちの心情について考察している。【読】(行動の分析) ・敬語「参る」「参らす」を理解している。【知・理】(記述の点検)	『更級日記』「宮に初めて参りたるころ」を読み、気付いたことを話し合うこと。
5月 日記 文学	蜻蛉日記 父の離京	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・二首の和歌の関係について考察している。【読】(行動の分析) ・撥音便無表記を理解している。【知・理】(記述の点検)	日記文学に表れた作者の心情について、和歌の内容や文章中の表現をふまえて話し合うこと。
	蜻蛉日記 鷹	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・語句や表現に注意して作者と道綱のやりとりを確認し、道綱の心情について考察している。【読】(記述の分析) ・助詞・助動詞の用法を理解して現代語訳している。【知・理】(記述の確認)	日記文学に表れた作者の心情について、和歌の内容や文章中の表現をふまえて話し合うこと。
	和泉式部 日記 薫る香に	エ・ア	・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・「同じ枝」「ほととぎす」「声は変はらぬ」という語句が、和歌の中でどのような意味を持って用いられているかを考察している。【読】(記述の分析) ・敬意の方向を理解している。【知・理】(記述の点検)	本作品の続きや、『紫式部日記』『同僚女房評』、『十訓抄』『大江山』などを通して、和泉式部の人物像を考察すること。
6月 物語	源氏物語 須磨	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・四首の和歌の内容をとらえ、四首に共通する心情について考察している。【読】(行動の分析) ・二方面に対する敬語表現を理解している。【知・理】(記述の点検)	古典作品における、漢詩や和歌の引用が、文章にどのような表現効果を与えているかを、調べてまとめること。
	7月	源氏物語 明石の姫 君入内	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・「 」部分を会話と心内語に分類し、紫の上と明石の君のお互いに対する心情を読み取っている。【読】(記述の分析) ・「れ」の識別を理解している。【知・理】(記述の点検)
歴史 物語 9月		大鏡 貫之と躬 恒	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、醍醐天皇がどのような人物として描かれているかを読み取っている。【読】(記述の分析) ・助動詞の意味と、敬語の補助動詞を理解している。【知・理】(記述の点検)
	評論	無名草子 清少納言 と紫式部	エ・ア	・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・紫式部が『源氏物語』を執筆する経緯について、どのように述べられているかをまとめている。【読】(記述の分析) ・助詞・助動詞の用法を理解している。【知・理】(記述の点検)
10月		風姿花伝 秘すれば 花	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・「弓矢の道」の話が何をどのようにたとえているのかを考察している。【読】(行動の分析) ・助動詞「なり」「べし」の多用により、文章が漢文調になり、作者の強い意志が感じられる文章になっていることを理解している。【知・理】(記述の確認)
	11月 近世 随筆	玉勝間 師の説に なづまざ ること	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・作者が、「学問の道」をどのように理解し、どのようにするのがよいと考えているかをまとめている。【読】(記述の分析) ・「に」の識別を理解している。【知・理】(記述の点検)
		雨月物語 浅茅が宿	ウ・ア	・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・勝四郎の心情の変化を読み取り、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしている。【読】(行動の分析) ・「に」の識別を理解している。【知・理】(記述の点検)

			る。		
--	--	--	----	--	--

漢文編第二章

4月 小説	売鬼	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、鬼の特徴と宋定伯の機知の内容をまとめている。【読】(記述の分析) ・文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳している。【知・理】(記述の確認)	中国の小説に見られる「鬼」について、日本の「鬼」との違いが分かるように特徴をまとめること。	
	落雷裁判	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・語句や表現に注意して文脈をとらえ、県令が犯人をつきとめた経緯をまとめている。【読】(記述の分析) ・文章中の疑問の句法を理解している。【知・理】(記述の点検)	清代までの中国の小説の流れと、それらが日文章学に与えた影響について調べ、まとめること。	図書館の活用
5月 漢詩(一)	古体詩	エ・オ	・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わう。 ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。	・古体詩の構成上・音声上の規則を理解して、読み味わっている。【読】(行動の観察) ・日本語としての「七夕」という言葉が歴史的にみえどどのように成立してきたかを理解している。【知・理】(行動の観察)	「迢迢牽牛星」を読み、中国と日本の七夕伝説の共通点や相違点について調べ、発表すること。	図書館の活用
6月 随筆・詩話	売油翁	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・全体を四つの段落に分け、それぞれの内容をまとめている。【読】(記述の分析) ・文章に出てくる句法を理解し、正しく現代語訳している。【知・理】(記述の確認)	「売油翁」における、『莊子』からの引用部分と文章内容との関係を調べ、作者の考えについて文章にまとめること。	図書館の活用
	7月 史伝	伯夷・叔齊	ウ・ア	・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・「天道是邪非邪」に込められた作者の心情をとらえ、善行と幸福との関係について自身の考えを深めている。【読】(行動の分析) ・具体例と作者の主張との関係を理解している。【知・理】(行動の観察)	夏・殷・周の王朝交代の経緯を調べ、文章にまとめること。
9月 文章		捕蛇者説	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・蔣氏の涙の理由をとらえ、作者がなぜこの文章を書いたのかについて考えている。【読】(行動の分析) ・文章の構造を理解し、内容ごとにまとめている。【知・理】(記述の確認)	文章に表れた作者の執筆意図について、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。
10月 漢詩(二)	長恨歌	イ・ア	・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。	・文章を四つの場面に分け、それぞれの内容をまとめている。【読】(記述の分析) ・文章の構造を理解し、内容ごとにまとめている。【知・理】(記述の確認)	漢詩を読み、対句と押韻を調べてまとめること。	図書館の活用

目標を達成できたか A(80%以上)、B(65%以上)、C(40%以上)、 D(40%以下)	次学期(次年度)に向けての課題
自己評価	
1学期	
2学期	
3学期	